

科目名		就職実務			
担当教員	清野 貴久	実務授業の有無	○		
対象学科	電気電子工学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. 就職活動への意識付け、働く意欲を理解させる 2. 就職活動のスケジュールを把握させ、計画的に活動できるように指導する。 3. マナーや挨拶、挨拶などは面接のほかにもロールプレイングなど、実践的な指導も行う 4. 業界研究や、企業研究などの情報収集はインターネットや情報誌、ガイドランスなどで自律的な活動を促す指導をする。				
学習目標（到達目標）	1. 自分を理解したうえで、希望する企業を研究することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①SUZUKI ウィキネット出版				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	挨拶とマナー ・挨拶の必要性 ・挨拶の中の個人 ・ルールと遵守について	方法：テキストとプリントを使って説明 達成目標：挨拶とマナーを身につける。 準備学習：①サテセス第1巻 P5～P13の学習			
2	就職活動の準備とスタート ・就職活動の心構え ・就職活動の準備	方法：テキストとプリントを使って説明 達成目標：就職活動の準備ができる。 ①「働く意義」について考える。 ②企業が求める人材を理解。 ③どの時期に何をすべきかを理解。 準備学習：①サテセス第1巻 P5～P13の学習			
3	自分と職業を理解する。 ・自分自身を知る。 ・職業を知る。 ・志望動機	方法：テキストとプリントを使って説明 達成目標：職業を理解する。 ①自分の強みを見える。 ②職種と職業を理解。 ③志望動機とは何かを理解。 準備学習：①サテセス第2巻 P18～P246の学習			
4	情報収集・企業研究 ・情報収集のポイント ・企業研究の方法	方法：テキストとプリントを使って説明 達成目標：自分一人で情報収集ができる。 ①企業研究に必要な情報 ②情報収集の方法 ③企業を絞り込む方法 準備学習：①サテセス第3巻 P25～P206の学習			
5	職業テスト ・有文テスト	方法：テキストと自己実現についての作文 達成目標：職業観の確立 準備学習：項目1～4の各内容の復習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
期末試験、平常点と必要に応じて提出を求めるレポートを総合的に判断して評価する。 定期試験60%、レポート20%、平常点20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。		①社会人として必要なマナーやルールを理解させるために説明やロールプレイング、実習などを交え繰り返し練習することによって、身につけさせる。 ②個々の能力や、希望などを十分理解したうえで、適切な指導を心掛ける。			
実務経験教員の経歴 電気技術者として、電気設備の現場に4年間従っていた。第一種電気工事士					

科目名		就職実務			
担当教員	清野 貴久	実務授業の有無	○		
対象学科	電気電子工学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. 就職活動のスケジュールを把握させ、計画的に活動できるように指導する。 2. エントリーの仕方、面接対応など面接のほかにもロールプレイングを交え、実践的な指導も行う 3. 業界研究や、企業研究などの情報収集はインターネットや情報誌、ガイドランスなどで自律的な活動を促す指導をする。 4. 実際の就職活動に対する、個別指導。				
学習目標（到達目標）	①就職活動のプロセスの把握し、自律的な就職活動が行えるようになる。また、それによって企業の内定を勝ち取り、社会人として基本的なマナーを身につけている。 ②社会人常識マナー検定試験の合格基準に到達している。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践ビジネスマナー ウィキネット出版、社会常識検定テキスト 実光社				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	社会人常識マナー検定試験の学習 ・社会常識 ・コミュニケーション ・ビジネスマナー	方法：教科書とプリントを使って説明 達成目標：ビジネスマナーを身につける。 ・教科書「実践ビジネスマナー」を使用。 P1～P23 ・教科書「社会常識検定テキスト」を使用。			
2	志望動機 ・志望動機の作り方 ・志望動機の作成	方法：教科書とプリントを使って説明 達成目標：志望動機を作成			
3	履歴書と求職書 ・履歴書の書き方 ・求職書の書き方 ・就職セミナー（11月）	方法：教科書とプリントを使って説明 達成目標：履歴書と求職書が書ける。			
4	求職書受付書様（11月） ・就職写真撮影（11月）	方法：教科書とプリントを使って説明 達成目標：求職書受付書様の合格			
5	職業テスト ・有文テスト	方法：テキストと自己実現についての作文 達成目標：職業観の確立			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
期末試験、平常点と必要に応じて提出を求めるレポートを総合的に判断して評価する。 定期試験60%、レポート20%、平常点20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。		①社会人として必要なマナーやルールを理解させるために説明やロールプレイング、実習などを交え繰り返し練習することによって、身につけさせる。 ②個々の能力や、希望などを十分理解したうえで、適切な指導を心掛ける。			
実務経験教員の経歴 電気技術者として、電気設備の現場に4年間従っていた。第一種電気工事士					

科目名		就職実務			
担当教員	高橋 久夫	実務授業の有無	○		
対象学科	電気電子工学科	対象学年	2	開講時期	通年(前期)
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. 就職活動のスケジュールを把握させ、計画的に活動できるように指導する。 2. エントリーの仕方、面接対応など面接のほかにもロールプレイングを交え、実践的な指導も行う 3. 業界研究や、企業研究などの情報収集はインターネットや情報誌、ガイドランスなどで自律的な活動を促す指導をする。 4. 実際の就職活動に対する、個別指導。				
学習目標（到達目標）	①自律的な就職活動ができるようになる。 ②内定の確定 ③社会人としてのマナーとルールが身につけている				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動画で学ぶ就職ナビ オリジナルPDFファイル				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	説明・挨拶・内定まで/ ①就職活動のルール ②履歴書・エントリーシート	方法：教科書とプリントを使って説明 P1～P7およびP18～P24の就職活動に関するルールが理解できる。履歴書やエントリーシートが完璧に書ける。 準備学習：（P4～P6）を学習			
2	説明・挨拶・内定まで/ ①就職活動の準備	方法：教科書とプリントを使って説明 自分の希望や企業の考えを整理し、自分なりの就活のストーリーを練り書き、行動を立てることができる 準備学習：（P4～P6）を学習。			
3	説明・挨拶・内定まで/ ①企業訪問	方法：教科書とプリントを使って説明 アポイントの仕方、訪問時の注意事項がわかり、実践することができる。 準備学習：（P4～P6）を学習			
4	説明・挨拶・内定まで/ ①採用状の書き方	方法：教科書とプリントを使って説明 各種書類の必要性を理解し、相手に対して失礼のない文章を書くことができる。特に採用状は見本を見なくても書くことができる。 準備学習：（P4～P6）を学習			
5	社会人としてのマナーとルール/ ①あいさつ	方法：教科書とプリントを使って説明 あいさつの重要性を理解し、家族・友人・先生、近所の人と挨拶ができる。 準備学習：（P4～P6）を学習			
6	社会人としてのマナーとルール/ ①労働条件等	方法：教科書とプリントを使って説明 賃金の仕組み、各種手帳、勤務時間や休日など、労働者としての基本的な知識を身につける。 準備学習：（P4～P6）を学習			
7	社会人としてのマナーとルール/ ①社会との関わり	方法：教科書とプリントを使って説明 個人から家庭・地域・社会組織といった、コミュニケーションから自分自身のつながりまで、コミュニケーションの重要性を理解する。 準備学習：（P4～P6）を学習			
8	社会人としてのマナーとルール/ ①時事問題とは	方法：教科書とプリントを使って説明 時事問題に関心を持つことの重要性がわかり、ニュースを見ようとする気持ちがある。適切なニュースを選び、自分なりの考えを他人に聞かせることができる。 準備学習：（P4～P6）を学習			
9	社会人としてのマナーとルール/ ①スケジュール管理	方法：教科書とプリントを使って説明 時間の大切さとスケジュール管理の重要性が理解でき、手帳や携帯電話等でスケジュール管理をする方法がわかる。自分のスケジュールを4ヶ月と管理できる。 準備学習：（P4～P6）を学習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、授業態度等20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。		内定に結びつけつづけるための就職活動の準備と、社会人になってからのマナーの重要性を学習する。また、実際の就職活動を想定したロールプレイングなど、個々の就職活動状況に応じた指導をする。また、面接対応も同時に学習していく。併し、あくまで、自律的な活動を促すことを目的とした指導とする。			
実務経験教員の経歴 電気・電子技術者として、設計の現場に5年間従っていた。第一種電気工事士					

科目名		就職実務			
担当教員	高橋 久夫	実務授業の有無	○		
対象学科	電気電子工学科	対象学年	2	開講時期	通年(後期)
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. 就職活動のスケジュールを把握させ、計画的に活動できるように指導する。 2. 社会生活でも重要なコミュニケーションについて考え、その能力をアップする 3. 実際の就職活動に対する、個別指導。 4. コミュニケーション検定取得のための対策。講義-模擬試験-練習-模試を繰り返す。				
学習目標（到達目標）	①社会人としてのマナーとルールを身につけている。 ②社会生活でも重要なコミュニケーションについて考え、その能力をアップする。 ③コミュニケーション検定の取得を目標とする。 ④就職の内定				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動画で学ぶ実践コミュニケーション オリジナルPDFファイル				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	コミュニケーションを考えた聞き方、話し方、表情や動作の訓練をとおして、コミュニケーションを身につける ①目的に応じて聞く ②傾聴・質問する ③目的を明確にする ④ワークシートを用いて話の構成について考える ⑤会話の演習は、発声練習、ジェスチャーの訓練	方法：教科書とプリント、教材を使って説明 ロールプレイングなどで、正しい動作を学習する。 ①言葉を受け止めるコミュニケーションができる ②気持ちを受け止めるコミュニケーションができる ③目的が明確な話の組み立てができる ④意思の伝達を、しっかりとした言葉、動作でできる 準備学習：（P4～P6）を学習			
2	コミュニケーションの基礎 ①聞き手対応 ②話し手対応 ③ポイントメント・訪問・挨拶 ④傾聴練習 ⑤チームコミュニケーション	方法：教科書とプリント、教材を使って説明 ロールプレイングなどで、実際の対応、相手からの質問への対応などの動作を学習する。 ①一連の対応コミュニケーションを理解し対応できる。 ②上乗りの重要性を理解している。 ③グループワークの重要性を理解している。 準備学習：（P4～P6）を学習			
3	コミュニケーション応用 企業でのコミュニケーションの場面を想定したロールプレイング ①傾聴・言葉 ②チーム対応 ③会話・取材・ヒアリング ④面接	方法：教科書とプリント、教材を使って説明 ロールプレイングで、企業における各対応やコミュニケーションの応用力を学ぶ。 ①適切な傾聴、くても対応ができる。 ②企業、業界での適切な傾聴と発問ができ、コミュニケーションが成立している。 準備学習：（P4～P6）を学習			
4	コミュニケーション検定試験対策	方法：模範問題とその他の解説 ①検定合格基準の点数に到達している。 準備学習：（P4～P6）を学習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、授業態度等20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。		内定に結びつけつづけるための就職活動の準備と、社会人になってからのマナーの重要性を学習する。また、実際の就職活動を想定したロールプレイングなど、個々の就職活動状況に応じた指導をする。また、面接対応も同時に学習していく。併し、あくまで、自律的な活動を促すことを目的とした指導とする。			
実務経験教員の経歴 電気・電子技術者として、設計の現場に5年間従っていた。第一種電気工事士					